

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費
 3項 農地費
 1目 農地総務費

耕地課(内線:7334)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) バイオマス利用農地 再生実証事業	1,995	0	1,995				1,995	

トータルコスト 6,966千円 (前年度 0千円)

従事する職員数 正職員:0.6人

主な業務内容 実証試験・調査、技術普及活動

事業内容の説明

1 事業の概要

バイオマスを利用した簡易な工法で耕作放棄地を農地に再生する実証試験を行なう。未利用木質バイオマス(製材くずや樹皮のチップなど)と畜産堆肥を農地に投入し、併せて畦畔築立などの簡易的基盤再生整備を行なう。また、実証結果のPR、技術の普及を行う。

2 事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	事業内容
バイオマス投入 効果実証事業	1,099	未利用の木質バイオマスと畜産堆肥を混合し、代用表土として耕作放棄地に投入し、表土流亡効果や土壌改良効果を実証する。 また、投入後に野菜、飼料作の栽培行い、農地としての利用性を検討する。
簡易的基盤再整備 法実証事業	486	表土が流亡し石礫が表出している耕作放棄地を実証ほとし、土砂流亡防止のための畦畔築立等、農家自らが行なえる簡易な再整備技術を実証する。
推進会議の開催	130	現場の状況を反映した実証試験の実施や事業後の速やかな技術普及を図ることを目的に、関係者から構成される推進会議を開催する。 メンバーは試験協力者や営農組合、JA、町・県関係者等で構成。
県事務費	280	連絡調整、実証結果のPR・普及に関する経費
計	1,995	

3 事業期間

平成21~22年度